

## 安倍政権の感染拡大防止策

# 長い闘い戦略見えず



日本総合研究所国際戦略研究所理事長 田中 均

新型コロナウイルスとの闘いは目に「見えない戦争」だ。迫り来るウイルスは国民の力を試し、政府の能力を見定める。幸いなことに他の諸国、とりわけ欧州や米国に比べ、日本では感染による死者は多くない。

これが、マスクに違和感を持たず手洗いになじみ清潔を好む日本人の国民性、国民皆保険で高い医療水準によるものか。それとも、これから感染のピークを迎え、米国やイタリアのような多数の死者と医療崩壊を目

の当たりしにしなければならないのか。

長く続く「見えない戦争」に勝利するためには、政府が能力を十二分に発揮しなければならない。ところが、これまでの政府の対応は受け身でスピード感に欠け、闘いに必要な戦略は見えない。

危機にあつて何よりも必要なのは政治の強いリーダーシップだ。異常な事態には通常の対応では遅きに失する。感染の急拡大を止めるには人と人の接触を思い切つて減ら

たなか・ひとし 1947年京都市生まれ。京都大学法学部卒。外務省アジア大洋州局長、外務審議官などを歴任。北朝鮮との秘密交渉で2002年の日朝首脳会談を実現。

## 「政治」棚上げし結果を

し、企業活動を停止することだ。

同時に人々が生活を維持するために休業補償が必須だ。しかし政府の対応は経済への影響を恐れてか着え切らず、緊急事態宣言の発出、宣言対象地域の日本全土への拡大も後手に回った。

国民への給付金にして

も従来の思考にこだわ

り、スピードを優先した

措置はちゅうちよする。

他方、安倍晋三首相のリ

ーダーシップとして出て

きたのは唐突な小中高校

の休校であり、タイミン

グや整合性を失った海外

からの入国制限、あるいは

合理性を欠いたマスク

の全国民への配布だっ

た。

なぜ「安倍1強」と言

かだ。医療崩壊を阻止し

ねければならない。院内感染の防止、病床の拡充、医療用マスク・防護服、人工呼吸器の生産拡大、医師・看護師の動員などに、短期的な見掛けを重視した政策は通用しな

い。側近の意見にただ従

って行動できるほど簡単

な問題ではないのだ。

必要なのは、結果をつ

くるための緻密な戦略、

戦術をつくっていくため

のプロフェッショナルな

サポート、そして司令塔

の存在だ。

官僚や専門家の意見を

集約し、感染拡大防止、

医療崩壊の阻止、国民へ

の生活支援といった課題

を総合的にとらえた「大

きな絵」を描き、地方の

首長と強い連携を保って

いくことが重要だ。司令

塔は首相、官房長官を擁

する内閣官房が果たさな

ければならない。

当面の優先課題は明らか

だ。医療崩壊を阻止し

なければならぬ。

「見えない戦争」に勝利

するまで、「政治」は棚

上げすることが重要では

ないか。

政治的パフォーマンス

や支持率を上げるための

政治的考慮などは、ウィ

ルスの終息には何の役に

も立たないことを銘記す

るべきだろう。困難にあ

つて、国民にとつ見える

かよりも、感染防止の結

果をつくることに集中し

なければならぬ。

視標

新型コロナウイルス大流行